

地域包括支援センター別ヒアリング及びグループインタビュー 実施概要（案）

（１）地域包括支援センター別ヒアリングについて

【調査の目的】

- 市内の各地域包括支援センターに対して、これまでの活動の現状や課題、地域の特性分析について聞くとともに、第8期計画策定のためのアンケート調査結果からの気づき、担当地域での事例の検討や今後取組が必要と思うこと等についてヒアリングし、第8期計画策定に生かしていく。

【実施方法】

- 各地域包括支援センターへ事前に必要資料を送付の上、訪問してヒアリングを実施する。
 - 各センターの管理者及びセンターの事業全般について把握されている職員の出席を想定する（今後調整）。
 - 事前に以下の点について、センターとしての考えを出し合ってもらう。
 - ・第7期計画策定時の調査結果に対する現時点における評価
 - ・アンケート調査結果において、地域包括支援センターに対して寄せられた意見や要望への気づき
 - ・「在宅生活の維持が難しくなっている人の実態や必要な支援・サービス」について、担当地域での事例の検討
- ※令和2年3月発行の『介護保険事業計画の作成に資する調査結果の活用方法に関する調査研究事業 報告書』（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）を活用
- 実施時期は7月中、所要時間は2時間程度を予定する。

【主な調査内容】

- これまでの活動の現状と課題
- 地域の特性分析（立地や居住者等の傾向等からみた強み、弱み）
- アンケート調査結果からの気づき（自分たちに求められていること）
- 「在宅生活の維持が難しくなっている人たちの実態や必要な支援・サービス」の事例の検討
- 今後取組が必要と思うこと

(2) グループインタビューについて

【調査の目的】

○市内で活動している NPO、地域活動団体、事業者等に対して、これまでの活動の現状や課題について伺うとともに、第8期計画策定のためのアンケート調査結果からの気付き、今後取り組みたい活動等についてインタビューし、第8期計画策定に生かしていく。

【対象団体】

以下のグループごと2～3団体を対象に実施する。

- A) 健康づくりや介護予防に関する活動を行っている団体（例：スポーツジム、体操教室等）
- B) 高齢者の外出や移動支援に関連する団体（例：移動支援 NPO、タクシー・バス会社等）
- C) 認知症高齢者と家族に対する支援を行っている団体（例：認知症カフェ等）
- D) 高齢者の在宅での生活を支える団体（例：ヘルパー、訪問介護事業所等）
- E) 高齢期の住まいを支える団体（例：サービス付き高齢者住宅等）

【実施方法】

- 各団体へ事前に必要資料を送付の上、日時を調整しグループごとに指定の会場に集まっていただきインタビューを実施する。
- 各グループ2～4人程度で実施する（今後調整）。
- 実施時期は7月中、所要時間は2時間程度を予定する。

【主な調査内容】

- これまでの活動の現状と課題
- 活動で関わっている高齢者について感じる変化（年齢層、家族構成、在宅生活の様子）
- 最近の高齢者の様子から想定される今後の高齢者像や必要になると思われること
- アンケート調査結果からの気付き
- 今後取り組みたい活動
- 新型コロナウイルス感染症を踏まえた考え方や取組の変化